

タクト通信

タクト通信とは★ どんな素晴らしいオーケストラも、指揮者が素晴らしいだけでは良いメロディーを奏でることはできません。演奏者一人ひとりが力を合わせることによって、素晴らしい音楽を提供できるのです。友部のまちづくりも、「住民の持つパワーを結集させることによってより良い町となる」という思いを込めています。

2004年10月 編集・発行：友部学推進本部

Vol.08

町民参画のまちづくり「友部学」



みんなの知識・力を合わせて作り上げよう。「友部学」

友部町ホームページ

<http://www.town.tomobe.ibaraki.jp/>

友部学推進イベント in ふるさと友部まつり

今年度も「ふるさと友部まつり」にて、友部学のPRコーナーを設けます。マスコットキャラクターの写真コーナーや輪投げゲームなども実施し、楽しみながら「友部学」が理解できることと思います。

今回は、新たに「友部学実践ウルトラクイズ」を特設ステージで開催します。このクイズは友部に関する問題を出題して、〇×や早押しで回答してもらい友部のまめ知識王を決定するクイズ大会です。また、このイベントに参加することにより、今まで知らなかった友部を知ってもらい、自分が住んでいる友部により興味をもってもらうことを目指しています。

「ふるさと友部まつり」
平成16年10月23日(土)~24日(日)
場所：友部町立友部中学校

「友部学PRコーナー」
日時：23日・24日 9:00~15:00
会場：特設ステージ向側（中央付近）

友部学チラシバー
友部学ポスター掲示
写真コーナー（ポラロイド撮影）
ゲームコーナー（輪投げゲーム）

ハロウィンパーティ
（カボチャの灯ろう作成体験）
友部学コーヒーコーナー

「国際交流コーナー」
日時：23日(土) 10:00~15:00
会場：特設ステージ向側（中央付近）

みなさまの参加をお待ちしています！

ふるさと友部まつりイベント
友部学実践
ウルトラクイズ

日時：24日(日) 13:50~
会場：ふるさと友部まつり特設ステージ

豪華賞品多数！！

優勝賞品

大洗温泉の宿「鷗松亭」宿泊優待券(2万円分)
友部町の農産物セット、アクアワールド無料招待券 他

キッズ部門(小学生) 2部門でそれぞれ優勝者を決定します。
一般部門(中学生以上)



パ

ブリック・コメント制度導入検討へ

Public Comment

友部学実践パブリック・コメント制度検討委員会



- 第1回検討会の風景 -

パブリック・コメント制度の導入の目的は、町民参画のまちづくり「友部学」を実践していく上でのルール(積極的な情報公開・町民からの提案・提言を可能な限り行政に活かすなど)を、具体的に制度化することを最大の目的としています。

現在、町では制度の導入にあたり、学識経験者やまちづくり講座参加者など町からの推薦者9名、一般町民からの公募者4名、計13名で構成する検討委員会を設置し、さまざまな角度から友部の特徴を活かした制度にするため検討を進め、来年4月の実施をめざしています。

パブリック・コメント制度とは？

従来、町の基本的制度や方針、構想・計画などは、行政内部のみで作成されていましたが、この策定過程を、町民に広く公開し、さまざまな意見を募集しようという手法です。

これにより、行政内部で作成していた政策等の「案」に町民の英知を結集することで、より良いものにすると共に、意思決定過程の情報を積極的に公開することになるため、行政運営の透明性を確保し、信頼関係を構築するという効果もあります。

「参加」と「参画」の違い！

「町民参画のまちづくり」とよく耳にしますが「参画」ってなんですか？「参加」となにが違うのですか？と質問されるときがあります。ここでは「参加」と「参画」の違いについてご説明します。

「参加」と「参画」の違いとは、

「参加」は、「何かに加わること」という部分が強調され、「参画」は、「計画や企画に参じること」であり、より初期の段階から行政の決定に意見できることを意味しており、単純に何かに加わる「参加」よりも「参画」の方が行政への関わり方としては密接なイメージがあると言われています。

ちなみに、「画」の本来の意味からすると「画」は「くぎる」という意味で「限界を定め、それ以上でない」という意味を持っている一方、「加」は「ふやす」という意味のほか「仲間になる・する」という意味を持っています。従って、どちらが好ましいかどうかということではなく、場面・場面で使い分けることが適当なようです。

「友部学」では、行政に町民の方が「参加」していただくことも大切だと考えますが、町民の意見を行政に活かしたり、町民の方に町の施策等の計画段階から加わっていただき、行政を運営していくことを推進していることから、あえて「参画」という言葉を用いています。

友

部学まちづくり講座のその後...

地産地消

地産地消ネットワークの構築

地元でとれた野菜・米などを地元の方に消費してもらうためのネットワークを構築するために、消費者・生産者・農協・役場などの関係者により「第1回地産地消フォローアップ会議」を開催しました。

各々の立場・視点からさまざまな意見が飛びかい白熱した議論のもと、新たな問題点が浮き彫りになりましたので、各機関がこれらの課題を一度持ち帰って検討し、再度会議を開催することになりました。

会議に参加した方からは、理想と現実というギャップをなくす作業は考えていたよりも難しいが、実現化のために今後とも積極的に活動をしていきたいという意見がだされました。

※「地産地消」に興味のある方を随時募集しています！
お問合せ先：友部町役場企画課まちづくり推進室
Tel 77-1101(内線323)

学校・地域・家庭の連携

ともべ子どもの安全を守る会の発足

安全神話の崩壊が叫ばれる現代日本において、子どもの下校時の安全を確保するという強い願いを受け、友部学まちづくり講座「学校・地域・家庭の連携グループ」に参加したメンバー5名が「ともべ子どもの安全を守る会」を発足させました。これにより、地域全体で未来を担う子どもたちを守る活動が活性化することが期待されます。

現在、この会では、友部小学校児童に対して、下校時に徒歩での見守りとボランティア募集を兼ねた「あいさつ運動」を展開しています。

**一緒に子どもたちの安全確保のために活動してみませんか。
ボランティアをやってくださる方々を募集しています！
ご協力をお願いいたします。**

お問合せ先：ともべ子どもの安全を守る会
会長 高橋 明美 Tel78-5630